

令和3年度中野市農村女性夢プランに係るアンケート集計結果

質問に対する回答数及び割合を示しています。

複数回答している方、一部未回答の方がいるため、合計値に差があります。

問1 年齢

1. 20歳～29歳	1	1.2
2. 30歳～39歳	3	3.7
3. 40歳～49歳	2	2.5
4. 50歳～59歳	7	8.6
5. 60歳～69歳	29	35.8
6. 70歳以上	39	48.1
合計	81	100.0

問2 農家の形態

1. 専業農家	39	49.4
2. 兼業農家	40	50.6
合計	79	100.0

問3 親子又は夫婦の間で農業の仕事の分担をしていますか。

1. している	47	59.5
2. していない	26	32.9
3. 必要ない	0	0.0
4. しようと思う	1	1.3
5. できない	5	6.3
合計	79	100.0

問4 あなたは農業からの報酬をもらっていますか。

1. もらっている	42	53.2
2. もらっていない	30	38.0
3. もらいたいができない	2	2.5
4. 必要ない	4	5.1
5. もらいたい	0	0.0
6. そうしようと思う	1	1.3
合計	79	100.0

問5 あなたは生活費のほか、自由になるお金をもらっていますか。

1. もらっている	53	67.9
2. もらっていない	14	17.9
3. もらいたいができない	1	1.3
4. 必要ない	4	5.1
5. もらいたい	1	1.3
6. ときどきもらっている	5	6.4
合計	78	100.0

問6 休みを決めていますか。

1. 決めている	12	14.8
2. 決めていない	61	75.3
3. 必要ない	4	4.9
4. 決めようと思う	2	2.5
5. できない	2	2.5
合計	81	100.0

問7 休みのとり方はどうしていますか。

1. 週ごとに決めている	5	6.3
2. 仕事のふしめごとに決めている	42	53.2
3. シーズンごとに決めている	5	6.3
4. その他	27	34.2
合計	79	100.0

問8 労働時間は決めていますか。

1. 決めている	19	23.8
2. 決めていない	56	70.0
3. 必要ない	3	3.8
4. 決めようと思う	1	1.3
5. できない	1	1.3
合計	80	100.0

問9 あなたの家では農業経営の方針については、誰が決めていますか。

1. 自分	19	22.6
2. 配偶者	30	35.7
3. 親	4	4.8
4. 子供	4	4.8
5. 家族全員で話し合っている	21	25.0
6. その他	6	7.1
合計	84	100.0

問10 家族経営協定を結んでいますか。

1. 結んでいる	20	25.0
2. 結んでいない	49	61.3
3. 結びたい	2	2.5
4. 必要ない	8	10.0
5. 必要だが結べない	0	0.0
6. 知らない	1	1.3
合計	80	100.0

問11 農業を始めた時と現在では、変わったことはありますか。(複数回答可)

1. 自信をもてるようになった	18	15.0
2. 経営を考えるようになった	33	27.5
3. 常に技術を習得したくなった	23	19.2
4. 労働時間に余裕がもてるようになった	8	6.7
5. 相談できる人ができた	14	11.7
6. 何も変わらない	13	10.8
7. その他	11	9.2
合計	120	100.0

問12 過去5年間で始めたことはありますか。(複数回答可)

1. 農業や地域の集まりに参加	26	34.7
2. 農業経営について自分の意見を言う	13	17.3
3. 習い事(趣味)	25	33.3
4. その他	11	14.7
合計	75	100.0

問13 子どもはいますか。

1. いる	70	87.5
2. いない	10	12.5
合計	80	100.0

問14 問13で「1.いる」と答えた人だけお答えください。

1. 概ね満足している	37	54.4
2. 不満がある	14	20.6
3. とても不満だった	7	10.3
4. 育児にあまり参加していない	3	4.4
5. その他	7	10.3
合計	68	100.0

**問15** 問13で「1.いる」と答えた人だけお答えください。  
農業と育児を両立させるためにどうしたらよいと思いますか。

1. できない	0	0.0
2. 夫婦で育児をする	4	5.3
3. 家族みんなで育児をする	42	55.3
4. 保育園やヘルパーを活用する	28	36.8
5. その他	2	2.6
合計	76	100.0

**問16** 今後の経営規模はどうしたいと考えていますか。

1. 現状維持	26	34.2
2. 縮小	40	52.6
3. 拡大	4	5.3
4. その他	6	7.9
合計	76	100.0

**問17** 労働力を確保するにはどうしたらよいと思いますか。(複数回答可)

1. 家族労働	32	30.8
2. 季節雇用	34	32.7
3. 通年雇用	3	2.9
4. 受委託:産業公社、JA(ネコの手など)	17	16.3
5. シルバー人材	12	11.5
6. ワーキングホリデー	6	5.8
合計	104	100.0

**問18** 老後のいきがい(楽しみ)を持っていますか。

1. 持っている	35	46.1
2. 持っていない	12	15.8
3. 持ちたいと思っている	29	38.2
4. その他	0	0.0
合計	76	100.0

**問19** 農業・農村生活の中で大変と思うことは何ですか。  
次の中から2つまで選んでください。

1. 苦勞の割に農業所得が少ない	54	41.9
2. 時間にけじめがなく決まった時間が取れない	32	24.8
3. 慣習や因習がある	13	10.1
4. 地域の役割が多くて大変である	17	13.2
5. 付き合いが(経済的にも)大変である	8	6.2
6. その他	5	3.9
合計	129	100.0

**問20** 農業・農村生活の中で喜びと思うことは何ですか。  
次の中から2つまで選んでください。

1. いいものが無事に収穫できたとき	69	48.3
2. 時間に融通がつく	30	21.0
3. 仕事にやりがいがある	11	7.7
4. 自分の思ったこと、やりたいことができる	20	14.0
5. 仲間ができた	11	7.7
6. その他	2	1.4
合計	143	100.0

**問21** 男性と女性が共に築く地域社会を実現するために大切だと思うことはどれですか。

1. あなたが目標(目的)をもって自発的に行動する	31	37.3
2. 女性が農業経営参画をするために積極的に力をつける	18	21.7
3. いろいろな組織活動に参加し視野を広くする	29	34.9
4. 与えられた組織等の役割は引き受ける	5	6.0
合計	83	100.0

**問22** 女性の登用をはばむ原因は何だと思えますか。

1. 女性自身の意識がない	29	30.9
2. 女性の「役職は男性」という意識	24	25.5
3. 男性に、女性登用の意識がない	23	24.5
4. 周囲(家族)の支援がない	17	18.1
5. その他	1	1.1
合計	94	100.0

※「その他」等に係る記述一覧

問7	何時でも休む事が出来る 適当に 自分の都合で 用事のある時、必要に応じて休む 天気によって 用事の際は自由に行動する 雨の日・冬 お天気 仕事の間取れるときに 特に決めてない 冬期まとめて休む 仕事、体調の状況で 趣味の会の日、サークル活動の日、雨降り、好きな時 2. 仕事のふしめごとに決めてる／4. その他(小規模農家なので) 通院等用があるとき 作業の様子を見ながら 用事があるとき 決めていない 好きな時に 他の用事の時 月に2度の習い事のある午後は休み 雨の日 休みたい時
----	---

問9	夫婦で話し合い 経営してない 配偶者と2人で 夫婦 特に決めていない
----	--

問11	体力がついた 高齢になりやめようと考えている 夫が病気になる計画的にはできない 年をかさねるなか子供が家に入るまでにはあと10年頑張れるかが心配 仕事に張合と楽しみが増した いつも2人でないとだめ、年齢が80才過ぎたから なかなか携われなくなった 年を取って体力が無くなったことを実感します 高齢になった為、余裕がなくなり「健康のための農業」にしたい！ 自分の体力に自信が持たなくなってきた 農作業の配分
-----	--

問12	5年前以前からやっている 栽培の仕方等聞いたり調べたりする。 同じ立場で話し相談出来る作物の作る楽しみがふえた 農村女性の加工所に加わるようになった 少しずつ一人でやり始めました。(草取り、草刈り以外)
-----	---

問14	「1. 概ね満足している」において、共稼ぎで退職後の荒廃地を借りての田、リンゴ園作りなので仲間たちに教えてもらいながら楽しかった 同居の親に見てもらったり親としての最低のことしか出来なかったです 義父母がやっていたので農業はやらなくて勤めていたので保育園に預けた 当時は農業に従事していない 子供はすでに独立している。が、「2」に近いと思う。 農業従事して35年。育児期はしっかりできました。 勤めと農業の手伝いであまりかかわれなかった
-----	--

問15	自分の場合祖父母の協力(分離・分家)
-----	--------------------

問16	借地は返し自作地だけ家族で作る 「1. 現状維持」において、今のところ 転作を考えている 若い者にバトンタッチしてまかせたい 兼業農家です
-----	---

問19	気候変動 農協に出荷してもいつ入金があるか明確に無 気候変動に大いに左右される、作物のでき、不出来が 自然にはかてない 後継者ができない
-----	--

問20	家族皆で同じ仕事ができる おいしいと言ってもらえるとき
-----	--------------------------------

問22	女性にも遠慮あり、3の両方があると思う。
-----	----------------------

問23 女性農業者が一層活躍できる環境を整備するためには、どうしたらいいと思いますか。

家族の協力と理解が必要

この地域は閉鎖的環境だと思う。女性だけではなく家族皆が外に目を向ける努力が必要と思う。情報を得ることで家族の会話も増え農業経営にも役立つ会話も出てくると思う。

子供から老人まで全世代に周知や教育をして、女性が動きやすい環境を作る。

家事など女性に片寄りがちな負担が軽くなるよう、意識を変える

田舎に引っ越してきて男尊女卑がまだまだ根深いことが衝撃を受けました。男仕事、女仕事は身体の作りのあるのは理解できるが「やりたくない細かい作業は女に」「女にはできないだろう」って考えを持つ方はどうしてその様に考えるのか理解できません。

女性側も「男どもに任せていればいい」と言う意見を聞いた時はビックリしました。もっと男女関係なく、仕事に取り組める様に協力し尊重し合う事が重要だと思います。

技術を習得する

急に役など持って行かないで、農業技術能力勉強会などで少しずつ参加の機会を設けグループ化していったらと思います。今初心者、女性の技術員講習会はとても良いです。時間があつたらその後交流会などやったらどうでしょう！

家族が強力して、積極的に外に出れるようにする

やりがい、楽しみ、苦労を共感できる仲間、地域環境づくりの整備を自ら見つけ出し積極的に行動することが必要かと思っています

本人の意識の改革が一番大事ですね

後周りのかたの協力？

自由に組織活動に参加出来たり、農業に関する知識を高められるような話が出来る場を設ける。

農協等の女性部組織に参加する

現在のように地道な広報活動とこのような活動をいく事が大切だと思います。

トイレの時間の確保が難しいので、コンビニなどの提携

子育てしやすい環境整備や昔の風習を押し付けない。

男性も家庭を持ったら家事育児に参加するという意識を、義務教育の段階から意識づけしていかないと、難しいと思います。

女性自身(若い人)、職場、家庭の中に閉じこもらず、地域に目を向け仲間づくり等楽しみながら参画する気持ちになれば・・・自助公助、昔ながらの「ええっこ」ボランティア・・・

農家に利益を出る環境を考える

男女共に経営の勉強会の場をもうけ体力の違いがあるので女性も出来る仕事を楽しく生きがいを持って過ごせれば良いように思われます！！

本人の意識及び家族、地域の協力が必要だと思います。

労働力の確保

社会的には女性の活躍の場を少しずつ作っているが女性自身がまだ意識が足りないような気がする。又、勉強する場が足りない様な気がする。

腰・膝が痛みがあっても働いている。女性の意識向上の場を。(学習の広場)

男性が積極的に家事をこなし女性に負担をかけ過ぎないようにする。

男性に女性登用の意識をなくす事。配偶者の理解がないとむずかしい。すぐ解決できる問題ではないと思います。周りのサポートも必要

家庭内を女性一人だけにやらせない。皆で協力して話し合いながら進めていく。

新しい生き方や時代の変化をこわがらず、勇気を出して前に踏み出して欲しいと思います。

労働力、介護の確保が不可欠だと思う。

学習する場の整備。JAの女性部普及センター等のグループ学習の場が無くなってる(コロナ禍)と思う。

育児を大切に家族が協力して農業が続けられればいかなと思います。

積極的に地域に出て考えをのべる。やりがいを見つけ、そこから拡大していった仲間が広がればいいと思う。

同じ目的の仲間と勉強を共にしながら

やはり自分自身が目標を持っていないから環境整備したところで前進にはならない。まずは身近な団体に参加することに始まる。農業以外の活動から参加してもつながりはできる。年令を超えた方が良いと思います。

外へ目を向ける女性の意識、それを見守る家族や男性の思いやりが必要かと思う。

自由に休める時間を周囲の理解を得たうえで確保できる。報酬を手にするルール作りをする。

自立できるようにお互いがんばる。

私のように「農業」のの字も知らずに来た者にとっては、土から育てる農作物の1から学び作ると収穫できたときの嬉しさは感動です。都会の若い女性(中高生)を収穫時の研修見学を計画して興味を持ってほしいです。

家から一歩ふみ出して自ら学習し参加参画仲間作り

なにを生きるといふのか

女性自身現状に満足して視野を広げる為にわざわざいい組織に入ろうとしないので、10年20年後の自分がどうなっているだろうかという意識を持たせる工夫を考えたい。

女性だけの農業のことや習い事の場所をもうけたり話し合いをしたりするのが大事だと思います。

自身の意識改革(自分もできる、やってみたいと思うこと)

農作業で働く若い女性の姿が見られなくなりました。若い人で農業に興味のある人、朝の2~3時間農作業手伝いを希望する人など、紹介してもらえるシステムがあると良いと思います。

女性の意識改革と男性の理解

年令が高くてもこれから農業をしようという初心者のための勉強会があつたら良いと思う。

家庭で主導権をにぎる

昔に比べると良くなつたが社会に平等という意識が低い。男性に教育が足りないと思う。

まず女性が抜けても農業や暮らしがまわっていけるようにすること。経営の見直し。二人農業ではなく大勢働ける法人化的なもの。

これを機会に考えたい。若い人を育てていけるような、若い人が必要としていることはなんなのか、意見を聞いてみたい。コロナで大変だけど都会の若者は農業に興味がある意見をよく聞きます。

問24 ご意見等ありましたら、自由にご記入ください。

女性をもっと働かせたいのであれば福祉の充実が必要だと思えます。  
後、遊具のある野外の遊び場や屋内の遊び場がもっとあればいいのにも思えます。

重い物が段々持てなく成って辛いですね

葡萄部会は女性のグループありますがリンゴ、桃部会は女性組織ないのであると良い！これからは自分が携わっている農業の分野の集まりが出やすいと思えます。またコロナ化が収まったら研修視察兼ねたお楽しみ会も！

お世話になる年になってお世話するなんてと笑われた。いいじゃないか自分が楽しく他人がたのしければ元気で明日をむかえられれば

人生70年以上生きてきましたが農業の楽しみは良かったです。作物も手をかければそれなりの答えで返ってきますので！！

老夫婦だけの農業でできる範囲で経営しています。

趣味で畑を借り花・野菜を作っています。結婚前は農家へはお嫁に行かないと断っていたのですが。。今は楽しみです。花が徐々に咲いて行く時は本当にうれしいです。それを近所の人にもらってもらいほめていただく嬉しさが増します。このアンケートは農家ではないので答えることはできませんがご苦労様です。

シャインマスカットの高騰で地域は競い合って頑張っている。子育て、孫育てが終わってからの女性の生きがいは？働くことのみで満足しているように思うが・・・

まず自分が力をつけて周囲の意識改革がされてきたら変わってゆくはず。

アンケートに回答させてもらいましたが、我が家、田3反、りんご3反少し欠けるぐらいの農業なのでどう答えていいのかわからず。私、週の三日ほど外へ働きに出ているので農村女性と言えないのでは？とにかく町も農村も地域の結びつきとか関わりが少なくなっていると思います。コロナが尚さら拍車をかけているような。でもこんな時代だからこそ農業って大事だと思いました。

今も昔も女性のやるべきことが多すぎると思う。私も高齢となりやれば何とかできる農作業も日々疲れが大きく重荷になってきています。生涯現役は？

中山間地では人手がなくてどんどん荒地がふえていってしまう。管理組合みたいなものを作ってなんとかがんばってほしいと思います。

多くの農業女性に呼びかけ働きかけのイベント等行う

70代を間近に心や体に疲れを感じます。なかなか前向きに考えられません。

組織離れのある中で中堅の年代の女性は、趣味もどう持ったら良いのかもわからず、何かしたいと思いつながら過ごしている方実際に多い気がします。

今私は夫と二人で農業をしています。そのため協定は必要ありません。自分の意見を言える環境にあります。でも息子が自立した時には思っていることは文字にしようと思っています。息子自身の自覚のためにも。私達の老後のためにも。

高齢になり休耕地になった畑があります。きれいに耕運してあり、借りたい人があれば菜園で活用して頂きたいと思えます。

女性には家事、育児等に多く時間がとられなかなか勉強する時間が取れない

企業の近隣誘致により若者に安定した収入が確保できれば農業や地域の担い手としても貢献してくれるのでは。若者の住める地域にしたいですね。